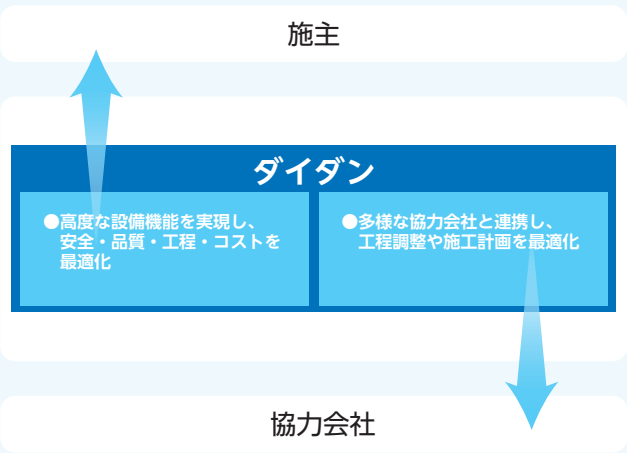


ダイダンは果たす役割

設計・施工管理を通じて、協力会社と共に建物設備をプロデュース

建物は、人々の暮らしや社会・経済活動を支える重要な基盤であり、その性能は安全・生産性・環境負荷などに影響します。ダイダンは施工管理を担い、顧客が求める建物価値の実現を支えています。施工現場には、配管・保温・電気など、工種ごとに専門性を有する協力会社が参画し、工程は同時並行で進行します。ダイダンは協力会社との連携のもと、工程・安全・品質・コストを一体的に管理し、確実な施工と円滑なプロジェクト推進につなげています。

建設業におけるダイダンの立ち位置と役割



- ・ 施工管理は顧客のニーズを整理し、施工計画・施工体制に落とし込む
- ・ あわせて、多様な協力会社と連携し、安全・品質・コストを一体で管理することで施工を遂行する

ダイダンは、施工管理を通じて、顧客ニーズの実現に向けてプロジェクト全体を統括する

設備設計技術をもって、多様なニーズを個別に実現

建物は、用途や利用環境によって多様な設備性能が求められます。加えて、脱炭素化の進展やBCPニーズの高まりなどを背景に、建物に求められる機能は一層高度化・複雑化しています。ダイダンは、こうした多様なニーズを踏まえ、建物ごとに最適な設備計画を立案する設計技術を競争力の源泉の一つとしています。長年にわたり蓄積してきた設計ノウハウと豊富な施工実績を基盤に、顧客の課題解決と建物価値の向上に貢献し、信頼の獲得につなげています。

ダイダンは手掛ける建物と、設備に求められる機能

建物	求められる機能
医療施設	空気清浄度管理／差圧制御／汚染防止設計 など
データセンター	冷却技術／BCP対応／高信頼運用 など
大規模工場	安定した製造環境／大容量の空調・電力／生産停止リスクの低減 など
研究施設・研究所	クリーン環境／特殊ガス／精密空調／振動対策 など

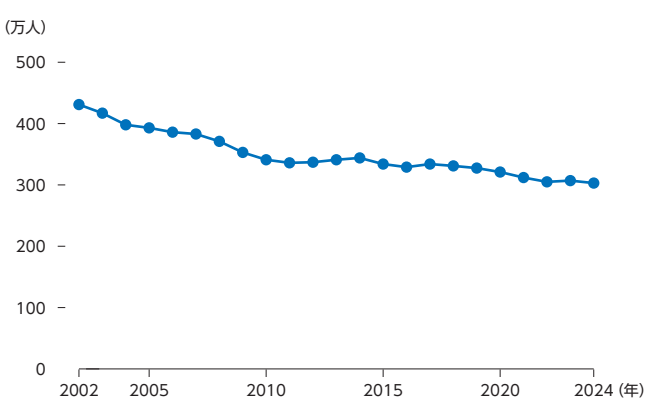
- ・ 建物に求められる設備性能は、その用途や利用環境によって大きく異なる
- ・ 脱炭素推進やBCP機運の高まりなど、社会の変化に応じて建物に求められる機能も高度化・複雑化していく

ダイダンは多様化・高度化する要求に対し、設備設計技術を核に最適解を提案する

施工効率化を追求し、ベストな施工体制を構築

建設業界では技能者不足が進む中、設備工事の担い手確保は年々厳しさを増しています。加えて、資機材価格の高騰や供給制約も進行しています。こうした環境下において、ダイダンは協力会社ネットワークと調達力を基盤に、工事を完遂する施工体制を構築しています。あわせて、オフサイトの活用やDXの推進により施工プロセスの効率化を図り、限られたリソースの中でも安全・品質を確保しながら、プロジェクトを推進しています。

建設業における技能職者数の推移



- ・ 施工を担う技能者不足に加え、資機材高騰・供給制約が進行している
- ・ 業界全体として、施工の体制確保と効率化が課題となっている

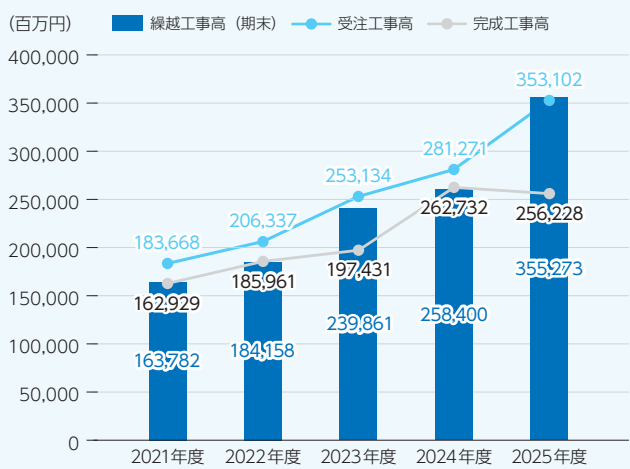
ダイダンは協力会社ネットワークと調達力を基盤に、オフサイト・DXで生産性を高め、現場ごとに適した施工体制を構築している

建設業デジタルハンドブックよりダイダン作成 <https://www.nikkenren.com/publication/handbook/chart6-4/index.html>

安定した財務基盤で、建設プロジェクトのキャッシュ・フローを担保

建設プロジェクトは、着工から竣工・検収まで長期間にわたることが多く、工事の進捗に応じて多額の資金が必要となります。一方で、工事代金の回収時期は契約条件によって異なるため、工事期間中は支出が先行する局面が発生します。特に大型プロジェクトでは、必要となる資金規模も大きくなる傾向があります。ダイダンは、こうした事業特性を踏まえ、健全な財務基盤の維持に努めています。安定した資金調達力と財務体質を確保することで、協力会社への適切な支払いをはじめ、プロジェクトを着実に遂行する施工体制を支えています。

受注工事高の伸長に伴う繰越工事高（期末）の推移（連結）



- ・ 建設プロジェクトでは、受注から竣工までには年単位のタイムラグが存在する
- ・ 受注拡大に伴い支出先行が増え、資金需要が高まりやすい

協力会社への支払いを確実にを行うため、安定した財務基盤を維持している